

超小型人工衛星筐体、可搬型衛星通信補助システム

春江電子(株) (坂井市)、福井大学、東京大学
福井銀行

平成 28~29 年度 産学官金連携技術革新推進事業補助金

問合せ先 宇宙技術研究 G



人工衛星筐体

背景と経緯

「ふくい宇宙産業創出研究会」の中で、春江電子(株)を代表にしたプロジェクトチームは、県の補助金を活用し、福井県工業技術センター、東京大学、福井大学などと連携し、次世代超小型人工衛星の設計・製造から組立および運用までのニーズに対応する技術開発に取り組みました。この結果、「超小型人工衛星筐体」と「可搬型衛星通信補助システム」を開発しました。

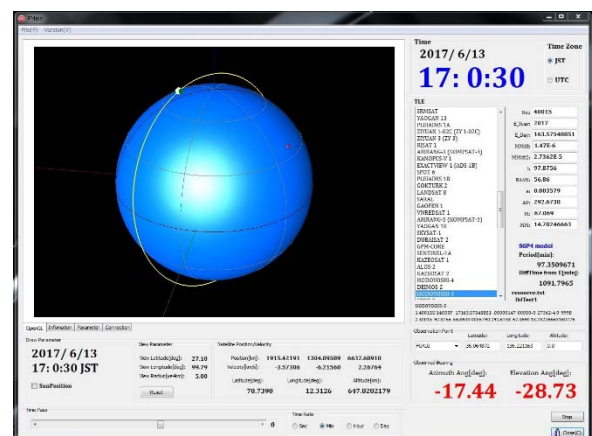
成果と製品化の状況

福井大学と共同で構造解析等を研究した「超小型人工衛星筐体」は、軽量で内部構成部品を保護する強度を有します。

「可搬型衛星通信補助システム」は、対象となる低軌道衛星の位置方向にアンテナを自動追尾させるもので、東京大学のニーズ提供に基づいて開発、製品化しています。



デモンストレーション装置



システム制御画面

可搬型衛星通信補助システム